

9 トモエガモ

(カモ目)

Sibirionetta formosa

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク: VU

種の概要

シベリア東部で繁殖する。繁殖後は中国東・南部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に本州、四国、九州で越冬する。古くから日本には多数渡来していた。1990年代に全国的に急減したが、2020年代に入り石川県や島根県などで大群の越冬が記録されるようになってきている。湖沼や河川、河口に生息し、草の実や葉、水草、水生の小動物などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：梅津節雄

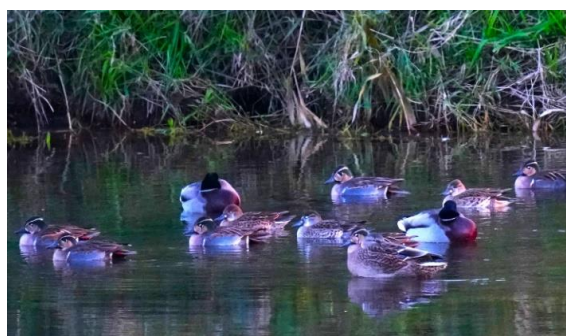
(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、★赤穂市、★宝塚市、三木市、川西市、小野市、三田市、加西市、★丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、宍粟市、加東市、たつの市、★稲美町、福崎町、★神河町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 環息 境・	局地的 繁殖	希少
○	○								



写真提供：梅津節雄

(性別：オス、メス)

※大きい鳥（2羽）はマガモ

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-翌4月に生息するが、年により渡来する個体数に大きな変動がある。多い年には小野市鴨池や加古川市平荘湖で100-200羽の群れが見られたが、2003年以後は渡来数が激減した。近年はほぼ2桁台で、渡来地によっては単体の個体が稀に記録される程度に減っているところもあったが、最近はやや回復傾向にある。

保護上の留意点

ため池や河川敷の抽水植物群落など、姿を隠せる水辺環境の保全が重要。